文 教 厚 生 常 任 委 員 会 記 録 簿

会 議 日 程	令和8年4月7日　10：00～10：30			
場　　所	瀬戸内町役場４階　議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠 席 委 員				
説明のため出席した者の職氏名				
付 議 事 件	１．所管事務調査「瀬戸内町における幼児教育・保育体制に関する調査」について			
	２．庁内聞き取りおよび現地視察・先進地行政視察日程の協議			
担 当 職 員 名	宮原書記	委 員 長 署 名	永井　しずの	

会　　議　　の　　概　　要

【調査目的の確認】
・3月定例議会において文教厚生常任委員会の所管事務調査として決定した「瀬戸内町における幼児教育・保育体制に関する調査」について、こども基本法等の施行に伴う町計画の改定や、認定こども園、病児保育、放課後の居場所確保（学童・子ども教室）、保育人材の確保といった重要課題の調査研究を進める方針が確認された。

【最優先課題の設定】
・柳谷委員より、住民の生活に最も直結する課題は「放課後の預かり保育（学童保育・子ども教室）」であり、来年度予算編成に反映させるためにも学童等の課題解決を最優先で取り組むべきとの提案があり、委員会として同意した。

【庁内聞き取り調査の決定】
・泰山委員より、新設されたこども家庭センターや町民税務課こども係、社会教育課等の関係部署を集めた庁内ヒアリングの実施が提案された。直近の学童待機児童数や放課後子ども教室への流れ、児童数推移などの現状把握を優先することで合意した。

【老朽化施設の現地視察】
・市街地にある築50年以上の老朽化施設（高丘保育園、古仁屋附属幼稚園、ひかり幼稚園）の現状を正確に把握するため、委員会メンバー5名による現地視察を4月中に実施することを決定した。